

# セタクイズ



**第1問** 織姫と彦星は、天の川をはさんで離れ離れになっています。2人はもともとどんな関係でしょうか？

- ① 親子                      ② 夫婦
- ③ きょうだい            ④ 師匠と弟子

**第3問** 年に1度だけ織姫と彦星が会えるとされる七夕の夜、2人を結ぶ橋をかけてくれるのは何でしょうか？

- ① 龍（りゅう）          ② カラス（鳥）
- ③ ツバメ                  ④ ホタル

**第5問** 七夕飾りのひとつ「吹き流し」は、何の上達を願って飾るものなのでしょうか？

- ① 音楽                      ② 料理
- ③ 裁縫・機織り          ④ 書道

**第7問** 東北三大まつりのひとつ「仙台七夕まつり」は毎年何月に開催されますか？

- ① 7月                        ② 8月
- ③ 9月                        ④ 10月

**第9問** 織姫星（おりひめぼし）の正式な星の名前はどれでしょうか？

- ① アンタレス              ② ベガ
- ③ アルタイル              ④ デネブ

**第2問** 七夕は毎年7月7日に行われますが、もともとは中国から伝わった行事です。中国での七夕の別名は何でしょうか？

- ① 上元節（じょうげんせつ）
- ② 乞巧奠（きっこうでん）
- ③ 重陽節（ちょうようせつ）

**第4問** 七夕飾りでは短冊に願いを書きますが、もともと短冊に書いていたのは何でしょうか？

- ① お金持ちになりたいという願い
- ② 詩や和歌などの文字
- ③ 家族の名前              ④ 食べ物の好み

**第6問** 七夕飾りで「網飾り（あみかざり）」を飾るのはどんな願いを込めているからでしょうか？

- ① 縁結びを願うため
- ② 豊漁・豊作を願うため
- ③ 健康長寿を願うため    ④ 旅の安全を願うため

**第8問** 天の川の「天の川」は、実際には何でしょうか？

- ① 雲の一種
- ② たくさんの星の集まり
- ③ 宇宙に実在する川
- ④ オーロラの種類

**第10問** 七夕の日に食べる伝統的な食べ物として、古くから伝わるものはどれでしょうか？

- ① ちらし寿司              ② そうめん
- ③ 冷やし中華              ④ 水ようかん

# こたえ合わせ



## 第1問 答え: 2番「夫婦」

解説: 織姫と彦星は夫婦です。結婚後に仕事をさぼるようになったため、天帝(おりひめの父)に怒られ、天の川をはさんで引き離されたという伝説です。

## 第2問 答え: 2番「乞巧奠(きっこうでん)」

解説: 「乞巧奠」は「技巧を乞い願うお祭り」という意味で、織物の上手な織姫にあやかって、裁縫や手芸の上達を祈る行事として中国から伝わりました。

## 第3問 答え: 2番「カラス(烏)」

解説: 七夕伝説では、無数のカラスが翼を広げて天の川に橋をかけ(「烏鵲の橋」と呼ばれます)、2人を会わせてくれるとされています。

## 第4問 答え: 2番「詩や和歌などの文字」

解説: もともと七夕では、織姫にあやかって「書や裁縫が上達しますように」と詩や和歌を書いていました。現在のように自由な願い事を書くようになったのは後の時代です。

## 第5問 答え: 3番「裁縫・機織り」

解説: 吹き流しは機織り(はたおり)の糸を表しており、織姫にちなんで裁縫や手芸の上達を願って飾るものです。七夕飾りのなかでも代表的な飾りのひとつです。

## 第6問 答え: 2番「豊漁・豊作を願うため」

解説: 網飾りは漁師の使う網を表しており、魚がたくさん獲れるよう、また農作物が豊かに実るよう願って飾ります。それぞれの飾りには異なる意味が込められています。

## 第7問 答え: 2番「8月」

解説: 仙台七夕まつりは旧暦に合わせて毎年8月6日～8日に開催されます。豪華な吹き流し飾りが商店街を彩り、全国から多くの観光客が訪れる東北を代表するお祭りです。

## 第8問 答え: 2番「たくさんの星の集まり」

解説: 天の川は、地球が属する銀河系(天の川銀河)を内側から見た姿で、無数の星が帯状に見えたものです。澄んだ夜空では今でも肉眼で観察できます。

## 第9問 答え: 2番「ベガ」

解説: 織姫星の正式名称はベガ(Vega)で、こと座の1等星です。一方、彦星(ひこぼし)はアルタイル(Altair)といい、わし座の1等星です。この2つの星とデネブを結んだものが「夏の大三角」です。

## 第10問 答え: 2番「そうめん」

解説: 七夕にそうめんを食べる習慣は平安時代から続いています。そうめんの細い形が織姫の糸を連想させること、また無病息災を願う食べ物として宮中行事に使われていたことが由来とされています。